



e-La Voz
「エー・ラ・ボス」と読みます

HCJB『アンデスの声』
日本語放送
メールマガジン
(第14号)

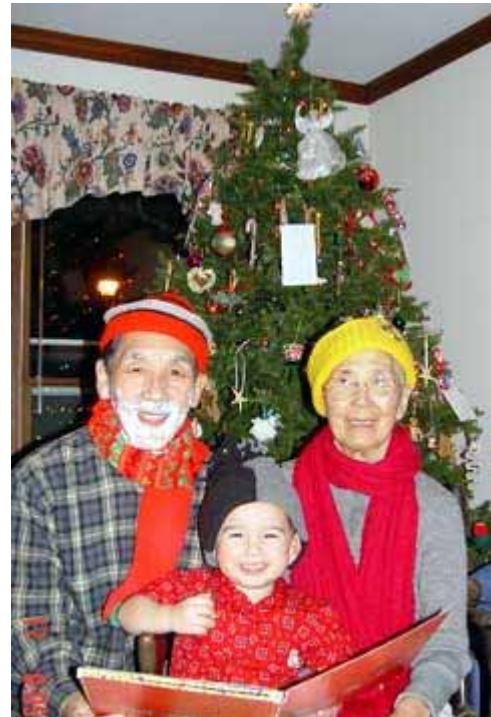
2003年12月19日発行

シカゴからメリー・クリスマス

日本も冬将軍が顔をみせはじめたようですね。ここも起きぬけに思わぬ銀世界の出現で目をみはることがあります、日差しをうけると水たまりの薄氷も白い雪化粧も姿を消してしまいます。

お祈りいただいている久子は、先週金曜日に二度目の化学治療を受けました。綿密な検査を重ねながら慎重に投薬をつづける専門医の努力には頭がさがります。神さまにいただいた才能を最大限いかして人々に奉仕する医師、看護師を主が祝福してくださるよう祈っています。いまのところ気になる副作用はでていませんが、血液中の成分のバランスがくずれたり、免疫力が弱くなるので十分な注意が必要です。最初の治療から三週間たち髪の毛が抜けはじめたので、クリニックに紹介されたイスラエル人の店にいきかつらを購入しました。自分でも気に入っているようで、祈られている身の幸いを感じながら自宅静養しています。

12月8日に私ひとりでシカゴのダウンタウンに行ってきました。ディーゼル機関車牽引の2階建て郊外列車に乗って約一時間でシカゴ駅に着き、そこから思い切って2マイル半(4キロ)ほど歩いて日本総領事館へ。歩行者はみんな厚いジャケットやオーバーコートを着ており、すでにビルや広場はクリスマスの飾りつけで飾り立てられました。警備役の騎馬警官の乗った馬がサンタクロースが愛用する赤い三角帽子を片方の耳に斜めにかぶっているのがとてもユーモラスでした。総領事館で「在留証明」を受けとったあと、風が強く冷たいので競歩のみの歩き方で市内にある Moody Bible Institute (ムーディ聖書学院)に元HCJBテレビで活躍し働いていた Curt Wilkinson 教授をたずねました。エクアドルで制作したビデオ・シリーズ(DINO のピアノ演奏にあわせてエクアドルの自然を撮影した三部作)をとどけるためです。同教授が制作に加わっているので生徒たちにぜひみせたかったのです。いっしょに学生食堂で昼食をとったあと、午後のクラスの時間になったので教室で生徒たちに会ってほしいといわれ、飛び入りで日本語放送の話を中心に将来の電波宣教師をめざす若者たちにエールをおくりました。この学院には WMBI (AM & FM)というクリスチャン放送局があり、40年前にHCJBからはじまる日本語放送についてのビジョンをインタビューで語ったことがあります。その時たまたま放送をきいたミズーリーの教会の人たちは、そのとき以来ずっと背後で日本語放送を支えてくださっており、息の長いサポートには頭がさがります。また、いまわたしが翻訳の手伝いをしている実話ドラマ・シリーズ「解放された人生」もこの局の長寿人気番組のひとつになっています。去年は「真珠湾」の映画が封切りされたのにあわせて、真珠湾攻撃隊長で戦後クリスチャンになった淵田美津夫中将の物語が放送されました。私もその役がまわってきてHCJBのスタジオで冷や汗をかきながら録音したのを思い出しました。



教授にまたぜひクラスで話してほしいといわれ再会を期して別れたあと、帰路もシカゴ駅まで歩いてやるとオリンピック選手気どりでまたまた4キロ走破にチャレンジしたまではよかったです、駅近くで足首がこわばって歩行困難になりダントン。通りかかったタクシーに手をあげてやっと駅に転がり込むことができました。タクシー代はたったの3ドル。ゴールまでもう一步だったのに残念でした。帰宅すると孫のクリスティンがすぐにバケツにお湯と塩を入れてもってきてくれたので、両足を突っ込んで筋肉の疲れをやわらげて一件落着。彼女は中学三年生でバレーボールの選手です。チーム名はタイガース。阪神タイガースの善戦を伝えるとうれしそうでした。シカゴの寒さを軽視し、年甲斐もなく足を酷使したことを反省しています。

人生の夕暮れが近づくと体の衰えを感じるもので。しかしそうここまで支えられ、守られてきたなというおもいが強くなるのも事実です。人生途上、危険やわなをも避けることができたのは、「驚くべき恵み」にほかなりません。ふりかえってみればまるほど、今も生かされているのだという感謝の気持ちがいっそうわきあがってきます。時は、クリスマス。その名はインマヌエル(神は私たちとともにおられる)と呼ばれた神の子の誕生のお祝いです。世界の地球上どこにいようと、すべての人々にメリー・クリスマス！

HCJB 日本語放送担当

在住 尾崎一夫 久子

HCJB特別番組のご案内

12月のHCJB特集番組「Christams in Asia」の中で、尾崎一夫が「日本のクリスマス」について語ります。放送予定日時は、以下の通りです。お時間がございましたら、ぜひラジオのダイアルを合わせてください。

放送日： 2003年12月23日（火）
放送時間： 12:30 - 13:00 (UTC)
周波数： 15390 kHz (19m)

受信レポートの送り先 : HCJB Australia
GPO Box 691
Melbourne, VIC 3001
Australia

e-mail: english@hcjb.org.au

このメールマガジンは、HCJB日本語放送の管理するメールリストに登録されている方に無料でお送りしています。

このメールマガジンをご覧になってのご感想やご意見、ご要望などは、[HCJB日本語放送](#)までお送りください。

また、このメールマガジンの配信停止、配信先変更、あるいは新規ご登録は、下の該当ボタンを選択し、必要事項をご記入の上、[この内容で送信する] ボタンをクリックして、手続きをお願いします。なお、
Netscape 6.2以降をお使いの場合、このメールマガジンに埋め込まれているご登録手続きの機能はご利用いただけません。 ご面倒ですが、[HCJB日本語放送](#)まで別途メールにてお知らせください。

配信の停止 (**重要:必ず現在メールマガジンの配信登録されているメールアドレスからご送信ください。**)

配信変更先のメールアドレス
(**重要:必ず現在メールマガジンの配信登録されているメールアドレスからご送信ください。**)

新規登録するメールアドレス

お送りいただいた内容はメールリスト・サーバにより自動的に処理しますので、余分な内容は一切入れないでください。
このメールマガジンはコンテンツが大きいため、携帯電話への配信はできません。



Copyright © 2003 by HCJB. All rights reserved.

日本語ホームページ: <http://www.hcjb.org/japanese/>

Eメール: kozaki@hcjb.org

郵便の宛先:

Mr. & Mrs. Kazuo Ozaki
1920 Berkshire Pl., Wheaton, IL 60187-8050, U. S. A.
